

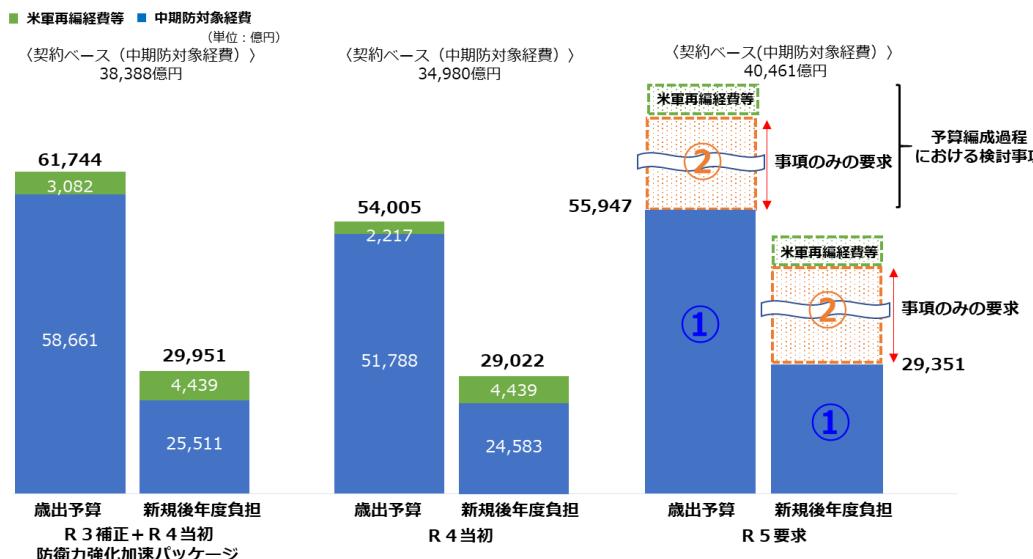
# 防衛省の令和5年度宇宙関連概算要求

令和4年9月  
防衛省

# 防衛省の令和5年度概算要求の方針・宇宙関連予算の概要

## 防衛省の令和5年度概算要求の方針

- 令和5年度概算要求は、「①概算要求基準で定められた要求・要望」(算出される額の範囲内で概算要求)とは別途、「②予算編成過程における検討事項」(事項のみの要求)を要求
  - ①:これまでの延長線上にあるものとして行う防衛力整備事業を要求
  - ②:「防衛力を5年以内に抜本的に強化する」ために必要な取組みを要求
- これを最大限活用し、①と②を一体のものとして、必要な事業をしっかりと積み上げ、**防衛力を5年以内に抜本的に強化する**



## 宇宙関連予算の概要

- 令和5年度宇宙関連概算要求は、**約972億円(歳出ベース)**を計上
- これとは別途、**事項要求**として、「防衛力を5年以内に抜本的に強化する」ために必要な取組を要求

## 防衛省・自衛隊の 宇宙を取り巻く課題

- 平時有事を問わず、意思決定のスピードや正確性における優劣が帰趨を左右
- 周辺各国のミサイルの技術高度化等への対応が急務
- 作戦の現場において通信の安全性や容量が不足している
- 従来の総合ミサイル防空システムのみでは脅威・リスクへの対応が困難



## 取組の方向性

### 宇宙から「つなぐ」 「とらえる」

- ・ 意思決定に資する情報伝達やデータ伝送において、保全・容量・遅延の改善により情報を「つなぐ」
- ・ 宇宙センサで地上目標やHGV等を「とらえる」

HGV (Hypersonic Glide Vehicle) : 極超音速滑空兵器



### 宇宙利用を「まもる」

- ・ 不審な衛星など宇宙の状況を把握すること (SDA) を基盤として、サイバー攻撃を含む妨害から自衛隊の宇宙利用を「まもる」ことで、部隊の任務を保証する

SDA (Space Domain Awareness) : 宇宙領域把握

# PATS対応の実証 低軌道通信衛星コンステレーションのサービス利用

## 事業概要

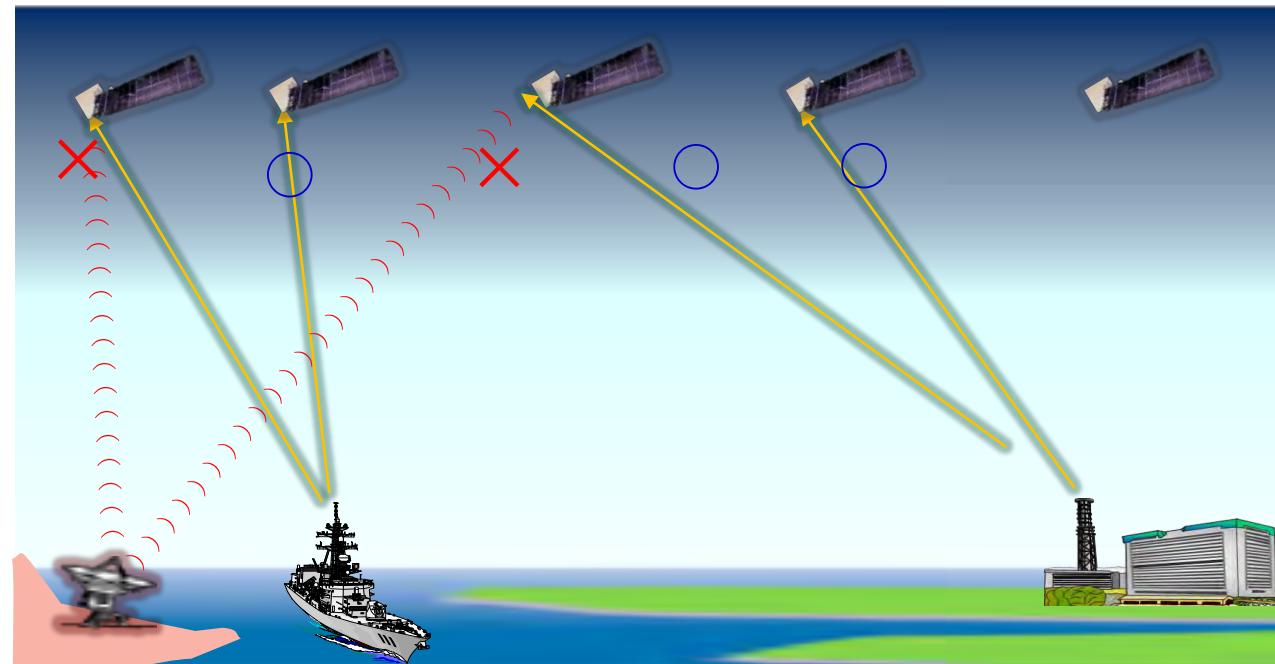
### <PATS対応の実証>

- 米国を中心とする加盟国間で通信帯域を共有する枠組であるPATS(Protected Anti-jam Tactical SATCOM)へ参加するため、通信機材の整備・実証を行う

※ PATS(Protected Anti-Jam Tactical SATCOM) : 抗たん性のある通信方式を適用した米国がリードする多国間の衛星通信の枠組

### <低軌道通信衛星コンステレーションのサービス利用>

- 民間コンステレーションの通信サービスの利用について、陸・海・空各部隊における実証を行う



低軌道通信衛星コンステレーションのサービス利用（イメージ）

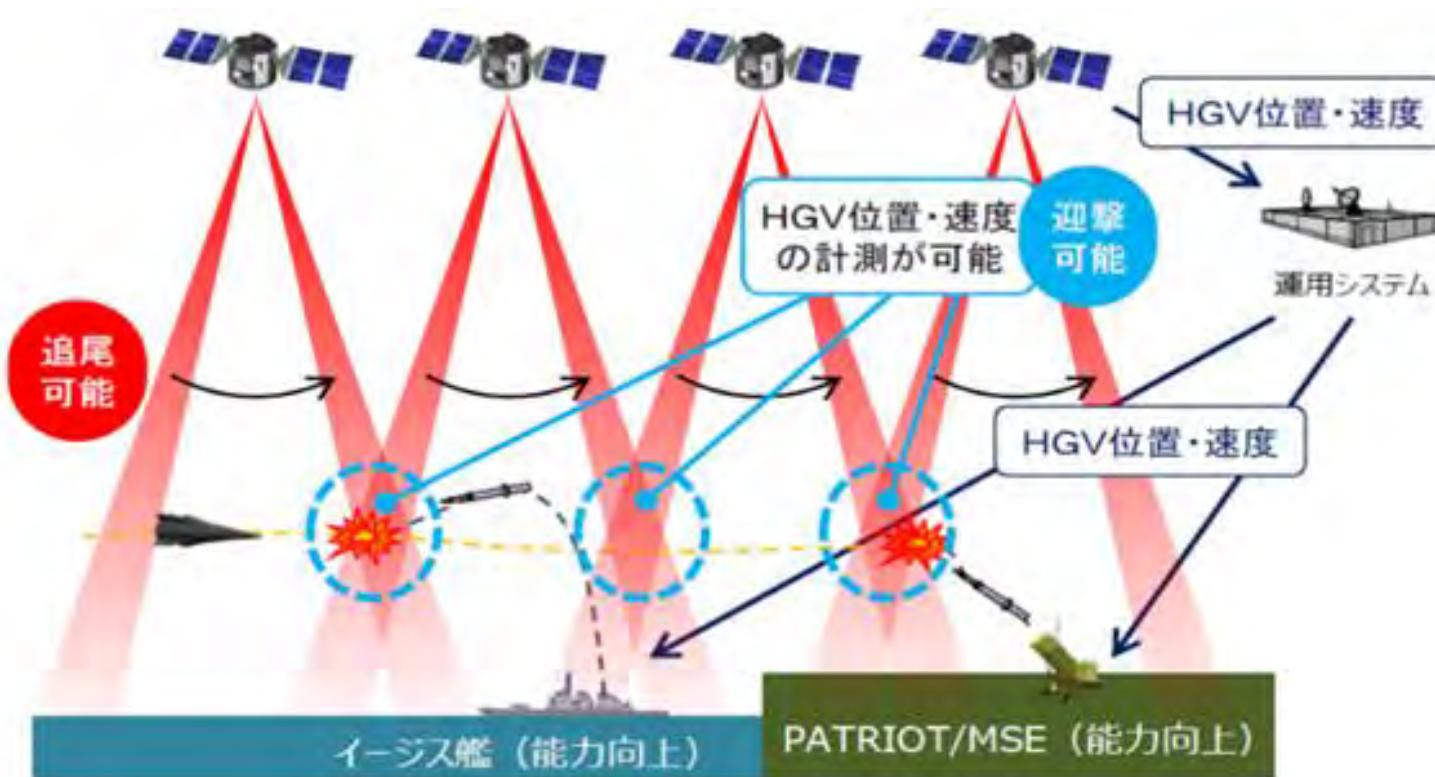
# 宇宙領域を活用した情報能力等の強化に係る研究実証 (HGV探知・追尾用赤外線センサ等)

とらえる

## 事業概要

- HGV探知・追尾コンステに用いる赤外線センサ等に係る実証を行う

※ Hypersonic Glide Vehicle : 極超音速滑空兵器



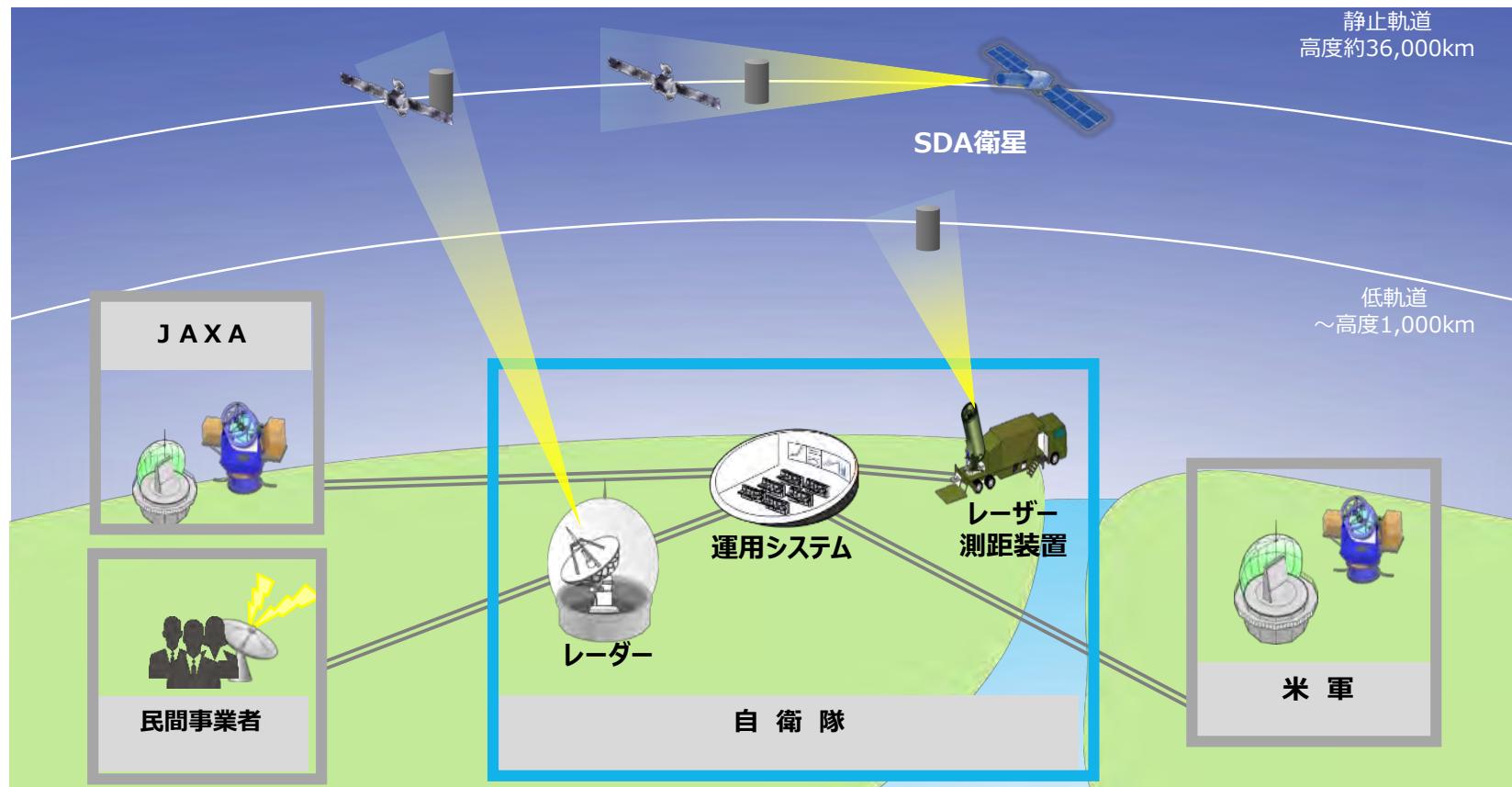
衛星コンステレーションを活用したHGV探知・追尾システム（イメージ）

## 事業概要

## ○ 宇宙領域把握に必要な衛星の製造・試験等を行う

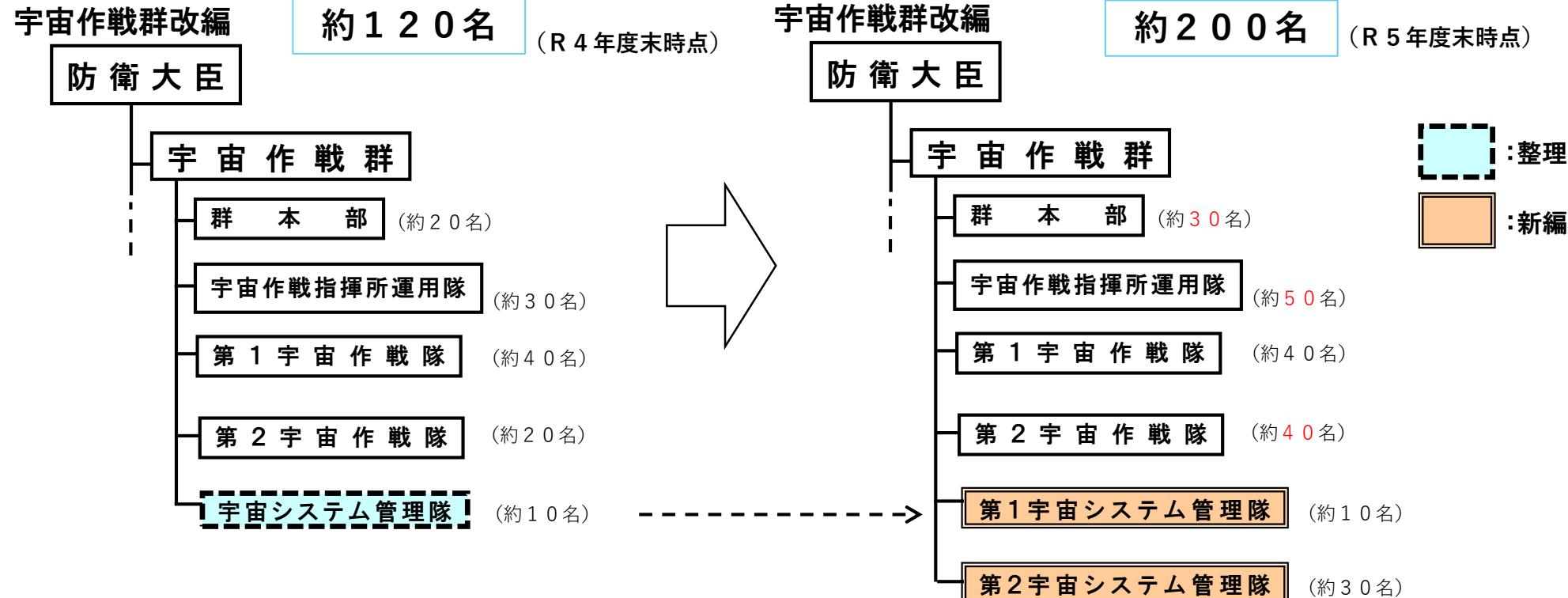
※ SDA(Space Domain Awareness) :衛星など宇宙物体の位置や軌道等を把握すること(SSA(Space Situational Awareness))に加え、衛星の運用状況や「意図や能力」を把握すること。米国等も現在はSDAを使用している

※ Space Domain Awareness :宇宙領域把握



# 組織体制の強化

- 令和4年度末に新編予定の宇宙システム管理隊(仮称)を、第1宇宙システム管理隊(仮称)に改編し、新たに運用開始される衛星妨害状況把握装置を維持管理する第2宇宙システム管理隊(仮称)を新編する。また、宇宙作戦の指揮統制機能を強化するため、要員を拡充する



年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
宇宙領域専門部隊		宇宙作戦隊の新編	宇宙作戦群の新編	宇宙作戦群の改編	宇宙作戦群の改編					宇宙領域専門部隊の拡充